

どうすれば、もっと。

日本で初めて、

作業療法士の養成が

始まつたのは

1963年のこと。

初めての国家試験は

1966年に行われ、

誕生したわずかな

作業療法士が各地で

作業療法に取り組みました。

身体に障害がある人も、

精神に障害がある人も、

子どもから大人まで。

人が望んでいる生活を

支援するために

少しずつ着実に歩みを

進めてきました。

50年以上の時を経て、

日本で約9万人の

作業療法士が

働くようになり、

医療、保健、福祉、教育、

就労支援へと、

期待される活躍の場は

広がっています。

どうすれば、もつと

豊かな生活に役立てるのか。

今日も明日も、よりよい

あり方を追い求めながら、

作業療法士の挑戦は続きます。

